

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	事務員
	パロール					
オプション			年齢	19	性別	女
覚醒	忘却	衝動	嫌悪	初期侵食率	35	%
出自	犯罪者	経験	記憶喪失	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	1	0			2	行動値	6
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	2r	14	0		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
リアクティブアーマー	11			-2	ダメージを2D軽減。1回/シナリオ。

所持品	
思い出の1品	
ウェポンケース	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
砂使い	P 感服	N 恐怖	
雨衣 香	P 同情	N 劣等感	
記憶の中の少女	P 慈愛	N 嫉妬	
シナリオ:小繰 リコ	P 慕情	N 不安	
平坂 トオル	P 慕情	N 猜疑心	
遥梨 望	P 幸福感	N 劣等感	
”千足狼”	P 同情	N 憤懣	

最大財産P:	36	残り財産P:	8
--------	----	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
黄金錬成	3		常時	至近	自身	自動成功		
効果:	常備点が+[Lv*10]。							
サイコメトリー	1	1	Mj			情報:		
効果:	ダイス+[Lv+2]D							
砂の結界	1	2	Au	至近	自身	自動		
効果:	カバーリングを行う。手番を消費しない。							
砂の祝福	1	4	Au	Lv×10m		自動		
効果:	〈砂の結界〉の射程を変更する。							
砂塵の城壁	1	1d10	Au	視界	単体	自動		
効果:	ダメージ適用前に使用し0にする。自身はHPを[10-Lv]失う。							
セットバック	1	2	Au	視界	自身	自動		
効果:	BS付与直後に使用。暴走以外のBSをLv個回復。							
グラビティガード	3	3	Au	至近	自身	自動		
効果:	ガード時に適用。ガード値+[Lv]D							
孤独の魔眼	1	4	Au	視界	効果参照	自動		
効果:	自身を含む対象:範囲の攻撃対象を自身のみへ変更。							
魔人の盾	3	5	Au	単体	自身	自動		
効果:	ガード時に適用。ガード値+[Lv*10]							
物質合成	1	5	Mj	至近	単体	自動	100↑	
効果:	同じ技能の武器2つか防具2つを選択し破壊。2つを合計したアイテムを装備する							
時の棺	1	10	Au	視界	単体	自動	100↑	
効果:	判定前に使用。判定を失敗にする。							
ディメンジョンゲート	1	3		至近		RC		
効果:								
テクスチャーチェンジ	1					知覚		
効果:	クリスタルシールドを砂塵化							

平時はUGNの裏方で働く事務員。
 気は優しいがそっかしく、自身の能力が仇となり備品や書類を砂にすることもしばしば…。
 それでもサイコメトリーを活かした事務処理能力を評価されて解雇を免れているらしい。
 オーヴァード能力は優秀なのだが気質ゆえに暫くは戦闘員不適合とされていた。

戦闘では砂の操作、特に重力を与えて過密化させることによる防御に特価。自身の能力でうっかり粉砕した元クリスタルシールドは特に堅固な守りとなるとか。

高校を卒業する前後より前の記憶がなく、気付けば触れたものを砂にしまうしちょっとのお尋ね者扱いだし…と散々なことになっていた。
 そこをUGNに拾われエージェントとして雇われることで安寧を得た経緯を持つ。ゆえにUGNには従順なほう。

自身のルーツに繋がると思っていたジャームは討伐し、しかし手がかりはなく。
 そう思っていたところに過去が伝えられる。私は、いったい誰？

